

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	稲沢市家庭教育支援チーム「ふぁみりい・らぼ」
活動開始年度	平成22年度
活動拠点	主に稲沢市内
活動範囲	稲沢市及びその近郊
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業() <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業() <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>10 人</u> 保育士、社会福祉士、家庭教育カウンセラー、 スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員、ホームフレンドなどの支援員、 思春期保健相談士等々
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input checked="" type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 【現在】 ・地域の保護者の子育て相談 地域の保護者からの相談を受け付け、対応している。保護者と直接対面で相談をすることもあるが、電話、メールによるものが多い。相談の内容は、核家族・ひとり親世帯から子育てや夫婦問題の不満や悩み相談、言語・歩行など発達の遅れへの不安、精神疾患を持つ保護者から子育て全般相談、不登校、いじめ(ネットいじめ含む)、保育士・学校関係者からの対応に困った子どもの相談や保護者対応の検討相談等。 ・子どもの教育に関わる親・大人への啓発活動 「子どもも大人もみんなが育つ、みんなが育つ」、そんな社会を目指し、講演会、ワークショップなどを行う。 ※2019年は「みんなの学校上映会から学ぶ」というテーマで、ドキュメンタリー映画鑑賞及び講演会、ワークショップを行った。 ・SSW、心の教室相談員などとともに各々が抱える課題を基に検討会を実施。 【今後】 ・子どもと親の身近な相談の場づくり ・子どもや子育て家庭の支援者の集いの場づくり(勉強会・交流相談会)。

	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと子育て家庭をサポートできる人材の養成および活動の場の創出とフォローアップ。 ・おもちゃ図書館の再開設にむけて、子育て支援課と準備中 <p>今年度春より具体的な話し合いが始まった。令和2年2月に開所する中央子育て支援センター内のプレイルームを月に4～5回、活動の場として利用できる予定。行政は、物的な環境整備、子どもは人的環境の育成をする方向で話し合いが進んでいる。</p>
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・活動開始時は、託児つき子育て講座(食育、発達、心理学、防災等)や映画上映会、季節のイベント等の自主開催を繰り返しながらニーズの把握に努めた。その結果、地域で活動拠点を持つ必要性を感じ、常設の「おもちゃ図書館」を開く。未就園児から児童期までの親子の居場所となり、身近な相談窓口の役割を担うことができた。子どもの一時預かりや不登校の相談、子どもとの関り方に悩む親子へのサポート、様々な子どもをみんなで育て合い、親同士が学び合える環境づくりが構築されていった。資金繰りが難しく、3年間の活動後一旦休止としたが、これまでの活動経験から家庭教育の重要性を感じ、2019年度再スタートしたところである。
活動において苦労した点や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、活動の拠点「おもちゃ図書館」を自主開設し活動を進めてきた。年代を問わず自由に集え、子育て中の親同士が支え合える環境を再び作るため再開設に向けて子育て支援課と相談準備中。 ・ボランティア活動は人材確保とその定着性、責任所在に課題がある。メンバー各々の専門性を活かす活動の仕組みづくりが課題である。 ・関連する担当課との連携や地域のネットワーク構築が課題。 ・活動の財源がないことが最大の課題。
今後の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもと家族が抱える課題の改善に取り組み「親子が笑顔でいられる子ども家庭支援」を目標に活動する。 ・小学校入学児童の保護者対象に子育て講座を開催し、学校生活や子育て不安の軽減を図る。就学児検診時などで行い相談しやすい関係づくりをする。 ・中学校では、主に思春期の子育て不安の軽減を図る取り組みを目標とする。 ・アウトリーチ型の子育て支援により各家庭と繋がり、外に出かけにくい親子の話し相手として取り組み情報収集に努め、他機関と連携をとる。 (孤立・多児育児、病児等、保健センターのフォロー的な関わり) ・子どもと家庭を支援する人材の養成と、活動の場の創出とフォローアップ。 ・養成講座修了生、子どもに関わる支援者対象の交流会。情報共有と勉強会を行い、支援者の精神面とモチベーション維持の場づくりをする。
問合せ先	<p>(部署・氏名等)NPO 法人ふぁみりい・らぼ (TEL)090-7041-5665 (E-mail)familabo2018@gmail.com</p>